

あぐいめ〜る新川

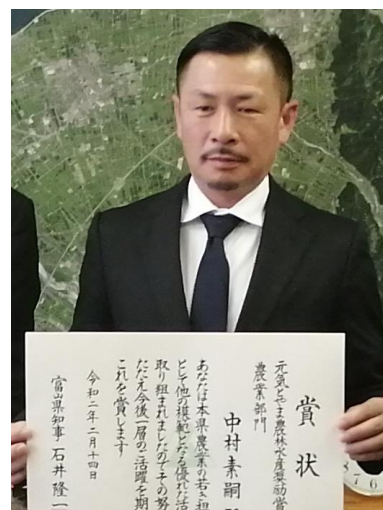
第86号(令和2年3月発行)
富山県新川農林振興センター
〒938-0801 黒部市荻生 3200
(TEL) 担い手支援課 (0765)52-0268
(0765)52-5192
農業普及課 (0765)52-0094
(0765)52-0945
(FAX) (0765)52-3115

新川 農業の未来を担う人〜第31回〜

中村 素嗣さん (有限会社 ファームエースひばり野)

1 就農の経緯、中山間地域での農業活動

中村素嗣さん(45)は京都出身で、大手企業のサッカーチームのプレーヤーでしたが、入善町内の農家の女性と知り合い、農業者に転身しました。平成15年に義父母らとともに有限会社ファームエースひばり野を設立し、平成23年から代表取締役として経営の中心となっています。生産拠点は入善町舟見南部の中山間地域で、経営規模は、水稻30ha、大豆7haです。特に、水稻では標高が高く冷涼な気候を活かし、ゆっくり登熟させ、品質・食味の良いものに仕上げています。令和元年産はJAみな穂のお米コンテストで、念願のコシヒカリ最優秀賞を受賞しました。米の販売はJA出荷が中心の一方で、直売のお客さんから美味しいと言ってもらえることがうれしく、これからも安全で美味しいお米ができるように頑張りたいと話しておられます。



この度、令和元年度元気とやま農林水産奨励賞(農業部門)を受賞されました。

2 地域の農業・社会への貢献活動

舟見地域農地維持・資源保全会の中心メンバーとして会をリードし、地域全域の水田畦畔をカバープラントで被覆する活動を進めています。草刈りの労力が軽減されてきたという声が聴かれ始めているので、全域がカバーされるまで頑張りたいと話しています。また、山林が近いのでイノシシやサルなどによる被害が年々酷くなっているため、大切な農作物を守るための電気柵の設置や猟友会の駆除隊員の活動にも積極的に参加しています。さらには、農業以外でも、サッカー選手の経験を活かして中学生クラブチーム「Kurobe FC」のコーチを務めており、スポーツ少年の健全育成に尽力されています。

今後も、入善町を代表する若き農業の担い手の一人として、益々の活躍が期待されます。

目次	P. 2	…	気象変動に備えた稲体～穂数型稲と根づくり～
	P. 3	…	収量・品質の向上に、健全な土づくりを!
	P. 4	…	露地小ギクの省力機械化栽培について
	P. 5	…	水稻育苗ハウスを活用したぶどうのボックス栽培の省力化について
	P. 6	…	GAP シリーズ6 認証審査の受審・認証取得について
	P. 7	…	鳥獣被害対策 侵入防止柵にプラスで対策強化!
	P. 8	…	「HACCP」による衛生管理が制度化されました!
	P. 9	…	農作業機付き農耕トラクタの公道走行について
	P. 10	…	栄えある受賞おめでとうございます

気象変動に備えた稲体～穂数型稲と根づくり～

令和元年産は、田植え時期を繰り下げた平成15年以降で出穂後20日間の平均気温が最も高い27.6℃（魚津）となりましたが、コシヒカリの一等比率は90.3%（12月末現在）と品質低下を最小限に抑えることができました。

気象変動が大きい中、令和2年産米も高温に打ち勝つ米づくりを実施しましょう。

表1 新川管内出穂後20日間の平均気温とコシヒカリー等比率

年次	出穂後20日間の平均気温(℃)※	一等米比率(%)
R元	27.6	90.3
H30	25.8	90.2
H29	26.0	92.7

(※魚津アメダスデータより)

1 「穂数型稲」の実践ポイント～初期茎数の確保～

(1) 健苗育成

老化苗では、2葉から発生する分けつの発生率が低下します。5月15日中心の田植日に合わせた播種など適正な育苗作業で若くてがっちりとした苗に育てましょう。

(2) 適正な田植

植付け後の天候不順によって、分けつが期待するほど取れない場合があります。70株/坪植付けの徹底するとともに小苗・浅植えを心がけましょう。

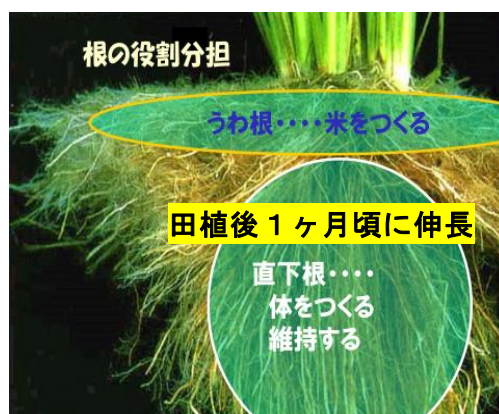
2 「根づくり」の実践ポイント～根圏の発達～

(1) 溝掘り・中干し

稲体を維持する「直下根」は田植後1ヶ月頃に急速に伸長します。田植後1ヵ月までに溝掘り・中干しを実施し、根の伸長を促進しましょう。

(2) 間断灌水～飽水管理

「上根」は登熟を掌る最も大切な根です。6月下旬から出始め、7月上旬が発生のパークとなります。前半は間断灌水で根を伸ばすことを中心に、後半は暑さなどで稲体活力を消耗させないように飽水管理を行いましょう。



「富富富」生産3年目

【令和2年産の生産見込み】

「富富富」は生産3年目となります。

管内の作付面積は昨年より99ha増加の388haが見込まれます。県内のみならず全国の消費者から愛され選ばれる、本県を代表するブランド米として育成していきましょう。

【令和2年産の重点栽培ポイント】

過剰着粒を防ぎ、収量・品質の向上を図るため

- ・基肥は、コシヒカリ慣行量の2割減を厳守し、穂肥は葉色に応じて慎重に行う。
- ・中干しは田植後4週間まで、梅雨が本格化する前に確実にを行う。

「富富富」ウェブサイト

登録生産者向けの栽培管理情報などお伝えします。
その他、「富富富」に関する情報はこちらから→

<https://fu-fu-fu.jp/>

富富富

検索

表2 R2年産の「富富富」作付面積

	富山県		新川管内	
	経営体数	面積(ha)	経営体数	面積(ha)
R2	673	1,290	139	388
R元	684	1,101	135	289

収量・品質の向上に、健全な土づくりを！

新川管内の土壌調査の結果から、腐植やカリ、ケイ酸、鉄分において土壌改良目標値に満たないほ場が沖積砂壤土を中心に多く見られます。特にカリについては、目標値に達していないほ場が水田全体の8割を超え、鉄分は7割、ケイ酸は5割のほ場で不足しています。

土壌改良資材や堆肥等の施用で不足している成分を補い、健全な土づくりを目指しましょう。

◎ 土づくり対策の実施

(1) 有機物の施用

水稻の登熟期間の地力窒素不足による葉色低下は、白未熟粒の発生や減収の要因となります。また、近年は、ごま葉枯病の発生が目立ち、カリ、鉄分、ケイ酸の不足がその発生を助長しているものと考えられます。

地力窒素やカリは堆肥の施用で、ケイ酸や鉄分は、土壌改良資材で補うことが効果的です。



図1 ごま葉枯病

表1 堆肥の肥効成分、施肥量および基肥窒素低減の目安

堆肥等の種類	現物当たり成分			対象作物	10a 当たり 施用量	基肥窒素の 低減割合(%)
	N	P	K			
牛ふん	0.6	0.8	1.0	水稻	1～2t	20～50
豚ふん	1.7	3.3	1.9	大豆	0.5～1t	約 50
発酵鶏ふん	1.9	6.4	4.4	水稻	75～100 kg	20～50

(2) ケイ酸資材の施用

土壌中のケイ酸を稲体が吸収することで、病虫害への抵抗性が高くなるほか、倒伏に強く、光合成能力が高まるなど、**米の収量・品質向上**にもつながります。ケイ酸は水稻を一作すると50kg/10a程度減少していくため、ケイ酸資材を毎年連用することが大切です。

表2 ケイ酸の収支表

土壌にプラス	土壌にマイナス
用水から流入 11kg/10a	溶脱 36 kg/10a 粃 27 kg/10a
計 11 kg/10a	計 63 kg/10a
差引 ▲52 kg/10a	

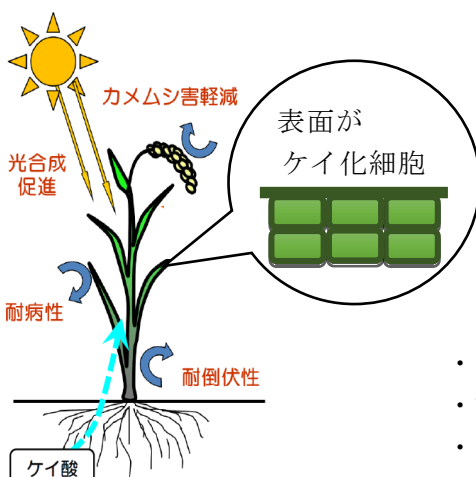


図2 水稻におけるケイ酸の吸収

根から吸収された、ケイ酸は、蒸散流により地上部に運ばれ、葉身や葉鞘、粃殻などの表皮付近に沈積し、ケイ化細胞を形成する。

ケイ化細胞の発達により
器官強度が向上

- ・耐倒伏性の向上
- ・割粃の減少、カメムシ被害の軽減
- ・いもち病などの耐病性の強化

品質低下の回避

- ・葉身が直立し、受光体勢が良好

**光合成促進
登熟向上**

露地小ギクの省力機械化栽培について

小ギクは8月の旧盆に多く消費される切り花です。近年、主穀作経営体においても旧盆小ギク栽培(表1)に取り組む事例が増えてきています。しかし労働強度の高い作業もあり、作業人員の確保の面から作業の省力化・軽労化が課題となっています。

このため、今年度から小ギク栽培の、

- ①半自動乗用移植機による定植・かん水作業
- ②支柱立て作業
- ③下葉落とし作業

を機械化する「省力機械化一貫体系」

の確立を図っていますので、今回は、この技術の特徴を紹介します。

表1 小ギクの栽培体系

月	3	4	5	6	7	8	9	10
作業	↓	—△—	x	—	—	■	■	▽
8月咲き	挿し芽	定植	摘心	整枝		収穫		仮植

1 省力栽培技術の特徴

(1) 半自動乗用移植機

小ギクの定植には半自動乗用2条キク移植機(試作機)が開発されており、今年の8月頃に市販される見込みです(写真1)。

この機械は、マルチの穴開け→植え穴掘り→植え穴への苗投入→かん水→定植苗まわりの土押えの作業を一工程で行うことができます。



写真1 移植機

(2) 支柱立て

真っ直ぐな切り花を栽培するうえでフラワーネットの設置が必要で、フラワーネットを支える支柱は10a当たり560本程度となり、この杭打ち作業が重労働となっています。

支柱の打ち込み作業の省力化・作業負担の軽減を図るため、重量が6.5kgと軽く、エンジン式の杭打ち機を利用することにより簡単な操作で打ち込み作業ができます(写真2)。

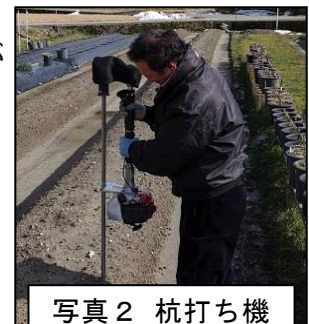


写真2 杭打ち機

(3) 下葉落とし

小ギクは生育期後半になると葉が繁茂するため、通気性が低下し病害発生の要因となります。このため、下葉落とし作業が必要ですが、非常に作業姿勢が辛い作業です。この作業を動噴で加圧した水を回転式ノズルで円錐状に噴出し葉を落とす下葉落とし機の利用により省力化・軽労化が図られます(写真3)。



写真3 下葉落とし機

2 作業時間の削減効果

表2 10a 当りの作業時間

作業 機械化	定植	ほ場管理		関連作業 合計
	半自動移植機	支柱立て	下葉落とし	
	3	9	3.5	15.5
慣行	23	30	18	71

これらの省力化機械化体系により、①定植作業は、慣行の手植え23時間/10aから3時間/10aに、②支柱立ては30時間/10aから9時間/10aに、③下葉落としは18時間/10aから3.5時間/10aにそれぞれ短縮されます。これらにより一連の作業時間を約80%削減できます(表2)。

今後、作業時間の削減に加え費用対効果についても検証する予定です。

水稻育苗ハウスを活用したぶどうのボックス栽培の省力化について

県では、主穀作経営の複合化品目の一つとして、水稻育苗ハウスを活用し、水稻育苗を従来通り行いながらぶどうを生産できるボックス栽培を推進しています。年間の管理作業（表1）の中で、ぶどうの着果管理作業が田植えや大豆の播種作業と競合することから、作業の省力化が課題となっています。

昨年度から、省力器具やジベレリン処理方法により着果管理作業の省力化を図る技術の現地実証に取り組んでいますのでご紹介します。

表1 年間主要作業

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
水稻	育苗・代かき・田植え						収穫・乾燥調製			
大豆			播種	培土				収穫		
ぶどう			房づくり	摘粒・袋かけ			収穫			せん定
ボックス栽培			種なし処理	種なし処理						

省力化

1 省力器具(花穂整形器)を利用した房づくり

房づくり（花穂整形）は、商品性の高い房型に仕上げるとともに、結実を安定させるための重要な作業です。花穂整形器は、半円形の切り刃の間に主軸を挟み、刃を上下に動かすことで不要な花蕾を除去する器具です（図1）。使用にあたっては若干の慣れが必要ですが、慣行のハサミを使う場合に比べ作業時間を5割程度に短縮できます。

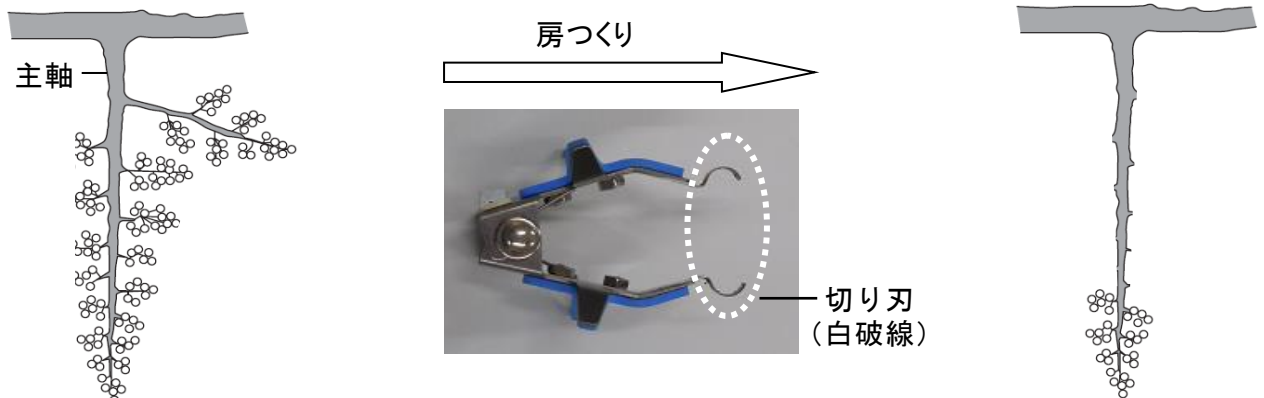


図1 花穂整形器による房づくりの省力化

2 ジベレリン1回処理技術

ジベレリン処理は、通常、種なし化と肥大促進のため、満開時とその10～15日後の2回実施していますが、これを1回に削減する技術です。「巨峰」や「ピオーネ」、「藤稔」、「安芸クイーン」、「ゴルビー」等の巨峰系4倍体品種では満開3～5日後にジベレリン処理を行うことで、処理回数を1回とすることができ、作業時間は半減します。

なお、ジベレリン1回処理で小果梗が短く着粒数も増加する傾向があることから、摘粒を早めに実施する必要があります。

3 ボックスぶどうを栽培しよう！

ぶどうは定植してから結実するまでの期間が短く、また、水稻育苗ハウスを活用することで、病害のリスクを大幅に低減でき、高品質果実生産も可能となります。導入を希望される方や詳しい栽培方法や経営収支等について知りたい方は当センターまでご相談ください。

GAP シリーズ 6 認証審査の受審、認証取得について ～認証取得は農場発展の第一歩～

農場ルール策定やリスク評価、GAP 基準書に基づく自己点検を一通り終えたら、いよいよ GAP 認証取得です。今回は認証審査の受審などについて説明します。

1 認証審査について

(1) 認証審査のスケジュール

審査の受審時には「認証の対象とする農産物が存在していること」が条件で、農産物の収穫や出荷時期から逆算し、あらかじめスケジュールを決めておきます(図)。

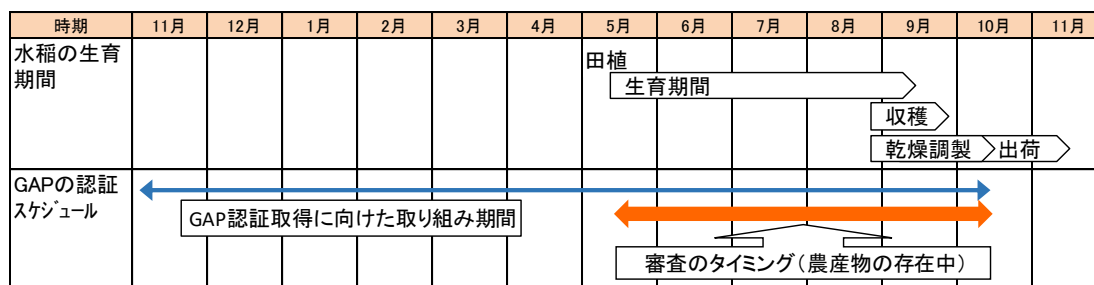


図 対象品目を「米」とした場合の認証取得のスケジュール

(2) 審査認証機関の選定、審査予定日の決定

審査認証機関により対応できる GAP や料金が異なるので、農場の条件に合った審査認証機関を選定します。その後、審査認証機関と調整し、審査日程を決定します。(審査が混み合い日程の確保が難しくなっていますので、遅くとも審査予定の3か月前までに調整します。)

※審査認証機関の選定や審査日程の調整は、県でも行っていますので、当センターにご相談ください。

(3) 審査の申し込み

審査予定日の決定後、審査認証機関が指定する様式で、審査申込書を作成し申し込みます。申込書には、圃場、農産物取扱施設、労働者、外部委託先などの情報を添付して提出します。

(4) 審査時間、審査費用

認証取得する GAP の種類、審査機関、農場の規模によって異なりますが、右に例を示します(表)。

表 審査時間、審査費用の例

	審査時間	審査費用(認証登録料などを含む)
JGAP	1日	12万円～15万円+審査員旅費、宿泊費
ASIAGAP	1.5日	15万円～20万円+審査員旅費、宿泊費

※農産物の輸出に取り組み、ASIAGAP、GLOBALG. A. P. の認証取得を目指す経営体を対象に国事業による認証取得費の助成があります(R2年度)。また、JGAPについては、県単で助成制度があります(補助率1/2・上限10万円)。活用にあたっては、当センターにご相談ください。

(5) 審査の受審、審査の内容

審査では、GAP 基準書に従い、帳票類などの書類の確認のほか、農産物取扱施設などの現地確認が行われます。審査を効率的に進めるため、整備した書類を基準書の管理点ごとにファイリングするなどの工夫が必要です。

審査で不適合と指摘を受けた事項は是正を行い、その内容を記載した「是正報告書」を作成、証拠となる帳票や写真を添付し、提出します。その後、審査認証機関による適合性の確認がなされ、認証書が交付されます。

2 認証取得は農場発展の第一歩

GAP 認証を取得した経営体の全てが経営改善につながったと実感しています。認証取得には多大な労力を要しますが、認証取得がゴールではなく、GAP の取組を、自らの経営の弱点(リスク)を日々改善するためのツールとして活用することが重要です。ぜひ、GAP 認証取得にチャレンジしませんか。

鳥獣被害対策：侵入防止柵にプラスで対策強化！

中山間地域を中心にイノシシによる農作物被害が増加しており、その対策の一つとして侵入防止柵（電気柵、耐雪型柵）の設置が進められています。今回は柵の侵入防止効果を強化するための対策を紹介します。

1 電気柵下の雑草対策

電気柵は地上から 20 cm、40 cm の高さに設置し、5,000 ボルト以上の電圧を保つ必要がありますが、雑草が電線に触れて漏電することで電圧が低下してしまいます。電気柵下に、導電線を織り込んだ「アース機能付き防草シート」を設置することで、電気柵の通電性を維持しながら柵下の除草作業の省力化を図ることができます。また、道路ぎわなど電気を通しにくいアスファルト上に電気柵を設置する場合も、このシートの設置によりイノシシへ効果的に電気ショックを与えることができます。

2 耐雪型柵(金網柵)のくぐり抜け対策

山際等では耐雪型柵の下を掘り起し、くぐりぬけて、ほ場へ侵入するケースが見られます。対策として、柵に「目隠しネット」を設置することでほ場内の餌（農作物）が認識しにくくなり、くぐり抜け防止効果があります。（写真は 4mm 目合ネット、より可視性の低いものが効果的）また、柵の接地部に直管パイプ（22mm 径）を補強することで、イノシシが鼻や頭で物を押し上げる力量（最大 70kg）でも、柵が破損せず、くぐり抜けによる侵入を防ぐことができます。

3 道路からの侵入対策

農道や生活道路など、柵を設置できない道路からの侵入対策の一つとして、道路への「グレーチング」の設置があります。イノシシ等が蹄を掛けにくい網目構造のグレーチングを用い、溝の深さ 30 cm 以上、奥行き 2m 確保（シカ対策は 4m）します。グレーチングは柵と接続して設置し、接続部分に侵入可能となるような隙間をつくらないことが重要です。なお、設置には道路の掘削等を伴い、道路管理者との協議が必要となります。



電気柵下へのアース機能付き防草シート設置



柵への目隠しネット設置



柵接地部をパイプで補強
（農研機構 2016 成果情報より）



耐雪型柵と接続した
道路へのグレーチングの設置

電気柵・耐雪型柵ともに設置後は定期的な保守点検を行うことが必須です。地域の状況に応じて上記の対策を取り入れ、侵入防止対策を強化しましょう。

★【トピックス】イノシシのジビエ利活用★

捕獲されたイノシシを地域資源として有効活用するため、NPO 法人新川地区獣肉生産組合（黒部市窪野）で、捕獲イノシシを食肉処理し精肉や加工品の販売を行っています。是非お試しください。

（新川地区獣肉生産組合 HP <https://niikawagibier.com/>）



精肉



ハム

「HACCP」による衛生管理が制度化されました！

このたび、食品衛生法が改正され、2020年6月から(1年間は猶予期間)、食品の製造、加工、調理、販売などを行う全ての事業者には、これまでの手洗いや清掃等の一般管理に加え HACCP に沿った衛生管理の実施が義務付けられることとなります。

HACCP とは？

- ・食品衛生上の危害の発生を防止するために特に必要な工程を管理するための取組
- ・ **H**azard (危害) **A**nalysis (分析) and **C**ritical (重要) **C**ontrol (管理) **P**oint (点) の頭文字をとり略した語句で「ハサップ」や「ハセップ」と呼ばれています。

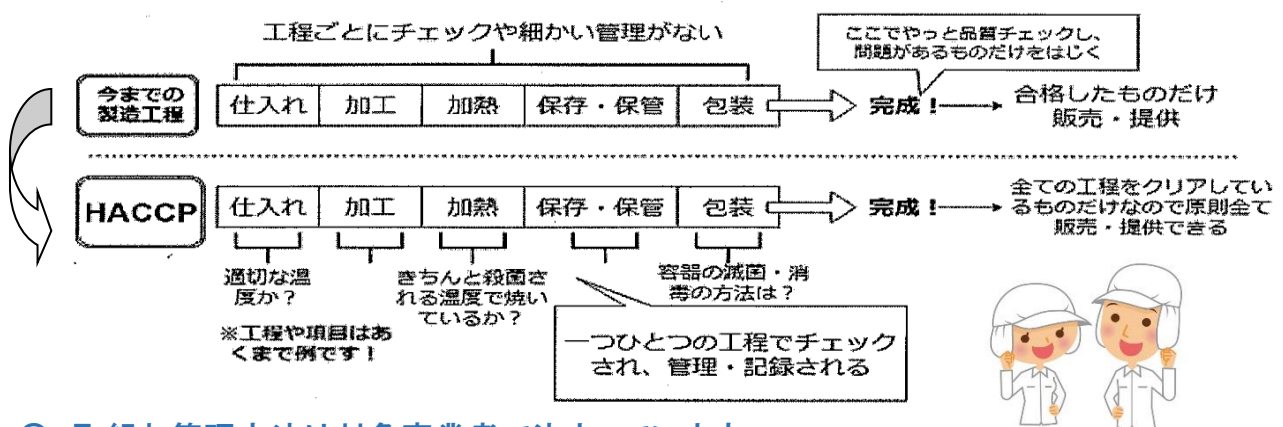
◎ なぜ必要なのか？

- ・ HACCP を実施することで、原材料の仕入れから包装まで、一つひとつの工程の中で厳しく管理・記録をして安全性を確保することにより、最終的に完成した食品の安全性をより一層高めることにつながります。

◎ これまでの取組みとの違い(下図参照)

- ・ これまでの取組み(上段)では最終的に確認はしているが工程毎の管理はしていません。
- ・ HACCP (下段) では、工程毎に「危害要因」とそのリスクの低減対策を定め、常に確認と記録をチェックすることによって、危害要因を予防、排除または低減させる管理が求められます。

(危害要因：健康に悪影響をもたらす原因となる可能性のある食品中の物質又は食品の状態)



◎ 取組む管理方法は対象事業者で決まっています

- ・ 大規模事業者やと畜場、食鳥処理場は①HACCP に基づく衛生管理、小規模事業者は②HACCP の考え方を取り入れた衛生管理(簡略化されたもの)を導入することとなり、多くの農業者は②の簡略化された方式を実践する必要があります。

◎ 取組む手順

- ① 厚生労働省のホームページに、業種別の HACCP の手引書を掲載されているので、ダウンロードします

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000179028_00003.html

- ② その手引書を参考に、衛生管理の項目毎に対応を考えた衛生管理計画を作成します。
- ③ この衛生管理計画に基づき、管理を実施し記録・確認していきます。

★まず、手引書で具体的な衛生管理項目の内容や手順を確認し、みなさんの実態に合わせたマニュアルを作成し実践しましょう。

【業種】：小規模な漬物製造、菓子製造、パン製造、惣菜製造、味噌製造、干しいも製造、米粉等製造、食酢製造、一般飲食店など

農作業機付き農耕トラクタの公道走行について

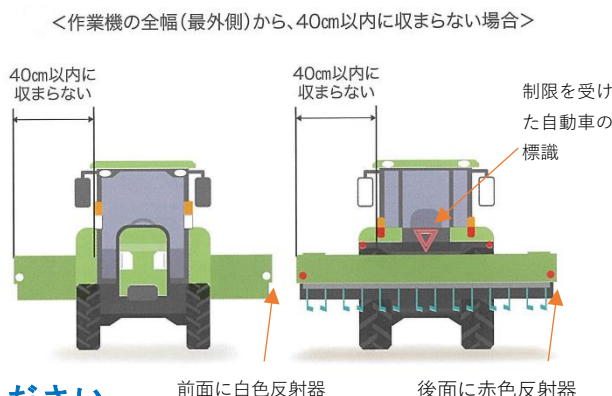
ロータリ等の直装型作業機を装着した状態のトラクタが一定の条件を満たすことで公道走行が可能となりました。道路走行時の条件や必要な対応等について以下に説明します。

チェックポイント1 灯火装置や反射器が見えているか確認してください

トラクタに付けた直装型作業機を道路走行に支障がない位置まで上昇させ、条件を確認します。作業機を装着して灯火器類が見えなくなる場合は、別途灯火器類を確認できる見えるところに設置する必要があります。

灯火器類	前照灯、方向指示器、車幅灯（前方から確認）、 制動灯、後退灯、尾灯、後部反射器
------	--

確認できる場合でも灯火器類と作業機の最外側が40cm以上離れている場合は、作業機の両端に反射器（前面白色、後面赤色）と制限を受けた自動車の標識（▽）を後方から見える位置に表示します。

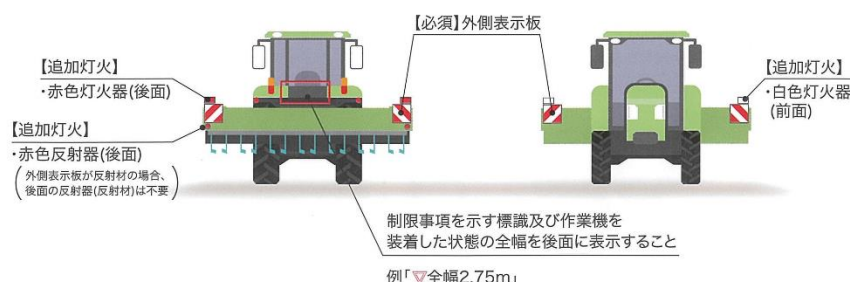


チェックポイント2 作業機の幅を確認してください

(1) 作業機の幅が1.7mを超えている場合は、機体の左右両側に後写鏡（バックミラー）を設置する必要があります。

(2) 全幅が2.5mを超える場合は、道路管理者（国道：地方整備局、県道：県、市町村道：各市町村）から、特殊車両通行許可を得る必要があります。また、作業機に外側表示板（作業機の前後左右）、反射器（後面左右両側に

■全幅が2.5mを超えていて、灯火装置等がそれぞれ最外側から40cm以内とならない場合の対応イメージ



赤色)、灯火器（左右両側に前面白色、後面赤色）、全幅表示、制限を受けた自動車の標識（▽）の取付けが必要となります。

チェックポイント3 安定性を確認してください

作業機を装着することで安定性の保安基準（最大安定傾斜角度が30度以上又35度以上）を満たせなくなる場合があります。その場合は、運行速度15km/h以下で走行しなければなりません。また「▽運行速度15km/h以下」を表示する必要があります。メーターに速度表示がない場合は取扱説明書で変速レバーの組み合わせを確認してください。安定性が確認されたものについては、15km/h以下での走行制限はありません。

なお、安定性の基準を満たした作業機とトラクタとの組み合わせについては日本農業機械工業会のホームページで公表していますので確認してください。

チェックポイント4 免許を確認してください

トラクタに作業機を装着した際の寸法が、長さ4.7m以下、幅1.7m以下、高さ2.0m以下（安全キャブや安全フレームの高さ2.8m以下）の場合は、小型特殊・普通免許で運転が可能です。ただし、いずれかの寸法を超える場合は、これまでどおり大型特殊免許が必要です。

～栄えある受賞おめでとうございます～

(敬称略)

第 58 回(令和元年度)農林水産祭 農産・蚕糸部門 天皇杯
第 48 回(平成 30 年度)日本農業賞 個人経営の部 大賞



(有)アグリゴールド矢木 (入善町道古)

水稲と大豆を主体に大規模な複合経営を展開し、省力化・低コスト化の徹底、高い収量と高品質生産を両立した高収益な経営を実践されました。また、女性が活躍する働きやすい環境整備や地域農業との連携した経営を展開し、本県農業の発展に大きく貢献されました。

公益社団法人大日本農会
令和元年度農事功績者表彰 緑白綬有功章

令和元年度地産地消等優良活動表彰
農林水産省食料産業局長



福島幸雄氏 (入善町道市)

施設きゅうりと電照菊の施設園芸等にかりフラワーの露地野菜を組み合わせた周年体系の園芸経営を確立されました。また、広域産地形成や担い手育成など県農業振興に大きく貢献されました。



朝日町農村女性グループ
連絡協議会 (朝日町)

昭和 52 年に組織を設立し、複数の直売所への出荷、郷土料理の技術伝承や加工品開発、食育活動などに熱心に取り組み地域農業振興に大きく貢献されました。

富山県農業振興賞

元気とやま農林水産奨励賞

部門	区分	市町村	受賞者名
米	生産者	入善町	(農林水産大臣賞受賞) (株)アグリライズ南保
	種子生産者	入善町	田中 修
麦	集団	入善町	(農)フロンティア三島
大豆	集団	入善町	(農)うぶすな
園芸	生産者	魚津市	富居 俊成
	農産加工	入善町	中島 由起子
	複合経営	入善町	(農)シムラアグリファーム
指導者等		入善町	手塚 明彦
		黒部市	山本 操

市町村	受賞者名
入善町	(有)ファームエースひばり野 代表取締役 中村 素嗣



今後の益々のご活躍を
心よりお祈り申し上げます。

